



令和5(2023)年度下都賀地区 家庭教育支援プログラム指導者フォローアップ研修

8月9日(水)、小山市立中央公民館を会場に標題研修会を開催しました。

今年度は、宇都宮メディア・アーツ専門学校の山田有宏先生と大橋素子先生から、「SNSで届け、広げ、親子の『笑顔』と『幸せ』。」というテーマで御講話いただきました。子育て世代の9割以上がSNSをツールとして様々な情報を収集していると言われていた現在において、SNSを活用した情報発信の有効性についてワークショップを交えながらお話しいただきました。必要な情報を必要としている保護者の心に届けるためには、時代の変化に合わせて効果的な広報媒体を選べ、家庭教育支援に関わる私たちの意識を柔軟に変化させていかなければならないことに気付くことができました。



人権週間に向けて

12月4日から10日までは「人権週間」です。1948年12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、『世界人権宣言』が採択されました。私たち一人一人が様々な人権問題を、「誰か」の問題ではなく、「自分」の問題として捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、様々な機会をとおして考えてみましょう。

県で作成した『人権教育推進の手引』には、県教育委員会の人権に対する基本的な考え方や今年度の主要事業、参考となる資料などを示しています。また、下都賀地区視聴覚ライブラリー(栃木図書館内 ☎0282-22-3542)には、人権に関する映像資料があります。下都賀管内は無料で借用できますので、授業や研修等でぜひ、御活用ください。



所有教材一覧はこちら

下都賀地区視聴覚ライブラリー

検索



地域をつなぐふれあい学習

壬生町 社会福祉協議会

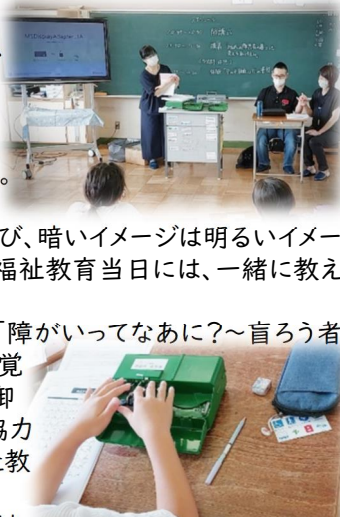
「仲間づくりと福祉教育」

壬生町社会福祉協議会では、主に町内の小学生を対象に依頼のあった学校を訪問し、高齢・障害・災害など多岐にわたる分野の福祉教育を実施しています。

本会における福祉教育は、当事者や関係者らと共に楽しく学び、暗いイメージは明るいイメージに変えることを目指しており、福祉教育当日には、一緒に教えてくれる協力者がいます。

障害分野における福祉教育「障がいてなかに?~盲ろう者とかかわり~」では、視覚と聴覚の重複障害の当事者及びその御家族、当事者の通訳介助員が協力者となり、今年も既に2校の福祉教育に参加いただきました。

協力いただいている方々からは、「自分たちに慣れ親しんで、“自然に支援する力”を養うきっかけになれば。また、将来自分たちを支えてくれる仲間を増やせれば。」と、温かいお言葉をいただいています。



栃木市 栃木公民館

「地域デビュー講座」

公民館では、地域づくりの担い手育成の事業として、今年度「地域デビュー講座」を初開催します。

講座は全4回の開催、現地学習やグループワークを通じ自分の住む地域の良さや特色、課題等を知っていただき、受講いただく中で参加者同士の横のつながりもつくっていただけると思っています。

現地学習では、市内6つの地域での特徴的な地域づくり活動の様子を体験・見学し、その活動への思いなどを学びます。

全体の講師は、元宇都宮大学教授の廣瀬隆人先生です。講座終了後、受講された方が、子どもから大人まであらゆる世代の住民が関わることができる活動に、積極的に取り組めるよう、アドバイスをいただきながら、一人でも多くの方の地域デビューを応援したいと思います。

首長部局へ移管した栃木市公民館の新たな取組に、ぜひご注目ください!



講座名/講師	日時	場所
1 講話・グループワーク /元宇都宮大学教授 廣瀬隆人 氏	11/10(金) 18時30分~20時	市民交流センター (栃木市市民会館)
2 現地学習(大平・藤岡・前舟)	11/18(土) 9時~15時	大平・藤岡・前舟地域 公民館(分館)で開催します
3 現地学習(栃木・野賀・西谷)	11/25(土) 9時~15時	栃木・野賀・西谷地域 公民館(分館)で開催します
4 講話・グループワーク・振り返り /元宇都宮大学教授 廣瀬隆人 氏	12/1(金) 18時30分~20時	市民交流センター (栃木市市民会館)

「共生社会の実現に向けて」PART3 「障害者福祉施設における学びの見学を通して」

第2回下都賀地区ふれあい学習推進会議では、本地区のふれあい学習推進委員、石橋須見江様が理事長をしておられる、社会福祉法人パステルを会場とし、実際に障害のある方々の活動の様子を見学させていただきました。また、パステルの経営理念や基本方針を説明していただいたり、当事者の方の話を直接お聞きしたりすることによって、障害のある方々にとって、学びの機会が大切であるということをこれまで以上に実感することができました。見学・説明後の協議では、ふれあい学習推進委員それぞれの立場で、どのような学習の機会が作れるのか意見を出していました。これまでの協議をもとに、2月に行われる下都賀地区ふれあい学習ネットワークにおいて、具体的にどんな学びの場を提供ができるか、考えています。

「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指します。